

チャレンジいばらき県民運動では
社会活動の「はじめの一歩」を応援します

令和5年度

社会活動デビュー支援事業



チャレンジいばらき県民運動

令和5年度社会活動デビュー支援事業

地域の困りごとの解決などこれから社会の新しい力になってみたいと考えている方々に対し、社会活動の「はじめの一歩」を踏み出せるような支援を行う。

◆参加者が主体的に学び、変化を生み出す契機を作る。

◆地域活動を互いにブラッシュアップし、高みを目指すネットワークを形成する。

1

社会活動デビューセミナー
の開催（4回）

- 全国各地から講師を招き、社会活動の実効性を高めるセミナーを開催
トークセッション、グループワーク、交流会などを行う
 - 社会活動のファーストステップとは
 - 地域活動に必要なファンの拡げ方と資金調達
 - 地域活動を拡げるシビックテック(※)とまちづくり
 - 社会に伝播する活動発信の取り組み方

(※)シビックテック
市民が主体的に行政と連携し、テクノロジーを活用して社会課題を解決したり、生活の利便性を向上させるための取り組み

2

【新規】
私のボランティアtalk &
matchingの開催（4回）

- 令和4年度いばらきチャレンジアワードの受賞団体をゲストに招き、各回のテーマに関連する団体による取組みの発表及び参加者相互で活動の情報を共有する機会を創出
 - 地域福祉／医療
 - コミュニティ／教育支援
 - 子ども／地域づくり
 - 学校／地域連携

3

いばらきチャレンジアワード
「支え合い2023」の開催

- 社会貢献のための独自性の高いプランのプレゼン機会を提供するためのコンテストを開催し、優秀なプランを表彰することにより、社会活動に向けてのチャレンジ精神を醸成するとともに、非営利の社会貢献活動を促進する



次ページへ

③ いばらきチャレンジアワード「支え合い2023」の開催

目的

地域の困りごとの解決など社会の新しい力になってみたいと考えている方々に対し、社会貢献のための独自性の高い活動プランのプレゼン機会を提供し、コンテスト方式により優秀なプランを表彰することで社会活動に向けてのチャレンジ精神を醸成するとともに、非営利の社会貢献活動を促進する。

対象者

- 県内に住所又は活動の拠点を有する個人、法人等で、社会的課題の解決を目的とする活動に取り組んでいるもの、又は、取り組もうとしているもの（学生、社会人、一般社団法人、NPO法人など）
- 株式会社などの営利法人は対象外とするが、非営利団体が主体となった協働での活動は可とする

表彰

- 知事賞 賞状・賞金 100万円
※チャレンジいばらきや専門家による継続支援も行う
- 理事長賞 賞状・賞金 30万円 ※2022から増額
- 奨励賞 賞状・賞金 5万円（×2団体）

審査

- 審査員 7名程度（理事長、部長、起業家、学識経験者、報道機関、金融機関）
- 審査基準 ①社会貢献性、②独自性、③継続性、④発展性

選考方

- 1次審査 書類審査で10団体以内を選出 ※令和4年度7団体
- 最終審査 1次審査通過者がプレゼンテーションを行い、各賞の受賞者を決定



【参考】 いばらきチャレンジアワード「支え合い2022」の状況

①公募から一次審査まで

【公募】

募集チラシ・ポスターを配布するとともに、ポスター掲示（水戸駅構内）、ホームページ、SNSを通じて周知しました。令和4年6月1日から7月29日にかけて募集したところ、46の活動プランの応募がありました。



プランの募集(4.6.1~7.29)

	福祉	環境	青少年	防犯 防災	地域 づくり	コミュニ ティづく り	SDGs	合計
応募数	13	7	8	3	7	6	2	46

【一次審査（書類審査）】

令和4年9月30日に一次審査会を開催し、46のうち、7つのプランをファイナリストに選出しました。

【参考】 いばらきチャレンジアワード「支え合い2022」の状況

②ファイナリストプレゼンテーション・表彰式

【ファイナリストプレゼンテーション（最終審査）】

令和4年11月23日、ファイナリスト7組による、プレゼンテーション審査において、厳正な審査の結果、茨城県知事賞以下受賞者を決定し、表彰式を行いました。

賞	団体名等	活動プラン名
茨城県知事賞	For Everyone Study 代表 植竹 智央	大学生や高校による不登校児童生徒へのオンラインでの支援活動～オンラインでの新しい場所の創出～
チャレンジいばらき県民運動理事長賞	Big smile project 代表 本橋 綾子	子ども食堂とドローン教室で夢と笑顔が広がる社会をつくる Big smile project
奨励賞	NPO法人ちいきの学校 理事長 大久保 泰子	介護助手養成 ちいすけ
奨励賞	高校生の社会参画ネットワーク「一つ空の下で(UNSAM)」 代表コーチ 大滝 修	高校生コンソーシアムと地域が協同する「学びのサポート」活動
会員企業特別賞 (日東電気株式会社賞)	減災活動団体akari 代表 森川 もえ	おみやげ話のように広がる減災啓発ギフト
会員企業特別賞 (水戸ヤクルト販売株式会社賞)	特定非営利活動法人いんどり 理事長 小松澤 史江	家庭訪問による手芸コミュニケーション
会員企業特別賞 (茨城トヨペット株式会社賞)	加藤 光敏	障がい者に対する金融法律のリテラシー教育



プレゼン&最終審査(審査員の講評)



知事賞受賞者(For Everyone Study)